

参考様式B4(自己評価等関係)

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 15日

事業所名 キッズグロース

		チェック項目	はい	いいえ	分から ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			学習スペース、集団活動、クールダウンの部屋と分けている	
	2	職員の配置数は適切である	10			児童全体に目が届くよう基準より多く配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	8			建物の構造上変更は難しいが施設内の設備、備品の充実を図るように努めている
業務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			評価表を作成後、研修で内容を報告、業務改善に毎年努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		1	ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	8			第三者による外部評価は実施していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			月に一度以上開催し、情報共有、問題提起の場を設けている	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	10				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			担当スタッフを順番にすることで偏りがないよう努めている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2		タイムスケジュールを見える化し常にわかるように努めている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成している	9	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		全員がそろった段階で打合せを行い、担当や注意事項など情報共有に努めている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	2	当日あったことは管理者に都度報告、保護者にも説明を行っている	記録に関しては十分でないこともあるため、業務日誌等に残すなど対応を検討している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	2			

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2			
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	利用者全員の利用予定期日を学校に毎月報告している	現在十分とは言えず、下校時刻の変更時の対応や当日学校であった様子を伺うことができず、今年度の課題として検討していきたい	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	5		現在医療的ケア児の受け入れは行っていない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4	1	相談事業所や保護者を通しての情報共有となっているため、今後は保育所や園とも直接話をできる機会を作るよう努める	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	4	現在、該当児童は通所していないが、今後対応が必要な児童には対応できるよう、予め準備をしておくよう努める	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	4	コロナも落ち着き、他事業所との交流する機会が増えるよう努力を務める	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	2	2	管理者・スタッフを含めてできる限り参加するように努めている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	4	2	4	現在対応できていない事案であり、今後保護者の方に対しても対応できるよう体制を整えていきたい	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		1		
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	1	面談以外にも気軽に相談してらえるようラインや電話での相談にも対応し、できる限りの対応と支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		1	今年は保護者交流会を実施、普段思っていることを話あう機会を設けたが、今後は親子、保護者交流の場をもっと増やしていきたいと考えている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		毎月「キッズだより」を発行し、保護者に情報提供を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	10			鍵付きキャビネットに保管し、取扱いには十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	3	利用時間やプログラムの都合でなかなか機会が設けられていないが今後機会をふやしていくよう努める	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			外部研修を受講したスタッフが全員に研修内容を説明し、情報共有に努めている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		1	職員を含め、児童とプログラムの一環として実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			外部研修も受講し、スタッフにも研修を行い対応している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			おやつや調理実習で利用する材料の写真を提供し、毎回確認をとっている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		1	事後対応、保護者対応を含め詳細な記録をとり、情報共有に努めている	